

第3回世界水フォーラム閣僚級国際会議（MC）について

1. 概要

第3回世界水フォーラムは、3月16日（日）から23日（日）までの8日間、京都・滋賀・大阪の琵琶湖・淀川流域において開催された。その一環として政府は、閣僚級国際会議を3月22日（土）及び23日（日）に京都にて開催した。今次閣僚級国際会議においては170の国及び地域と43の国際機関等が出席し、閣僚級の出席者は約130名であった。

会議の成果としては「水行動集」が発表され、「閣僚宣言」が採択された。

2. 成果

（1） 閣僚宣言

水は持続可能な開発、貧困及び飢餓の撲滅の原動力であり、人の健康や福祉にとって不可欠なものであるとし、草の根レベルからの取り組みの必要性、水行動集をフォローアップするためのネットワークの構築、公益や貧困層の利益の保護にも留意しながら官民のあらゆる資金を動員する努力を強化することを確認した。

（2） 水行動集

世界の水問題解決に向け43の国、18の国際機関から提案された501件の自発的かつ具体的な行動をとりまとめた「水行動集」（副題：“Time to Act”）を策定した。

本行動集の着実な実施を図っていくためのフォローアップの仕組みとして、ウェブサイトのネットワークを設立することが閣僚宣言で合意されており、我が国が当面このネットワークの定着までの間、責任をもって管理していく旨の表明を行った。

3. 水行動集のフォローアップ

5月下旬より国土交通省のホームページ

(http://www.mlit.go.jp/tochimizushigen/mizsei/wwf3/mc/pwa_info.html)

において水行動集のウェブサイトネットワークを暫定的に供用。

年内を目途に各国及び国際機関のモニタリングが容易にできる新たなネットワークを供用する予定。